

平成25年度t-PA治療実績 (平成25年4月～平成26年3月)

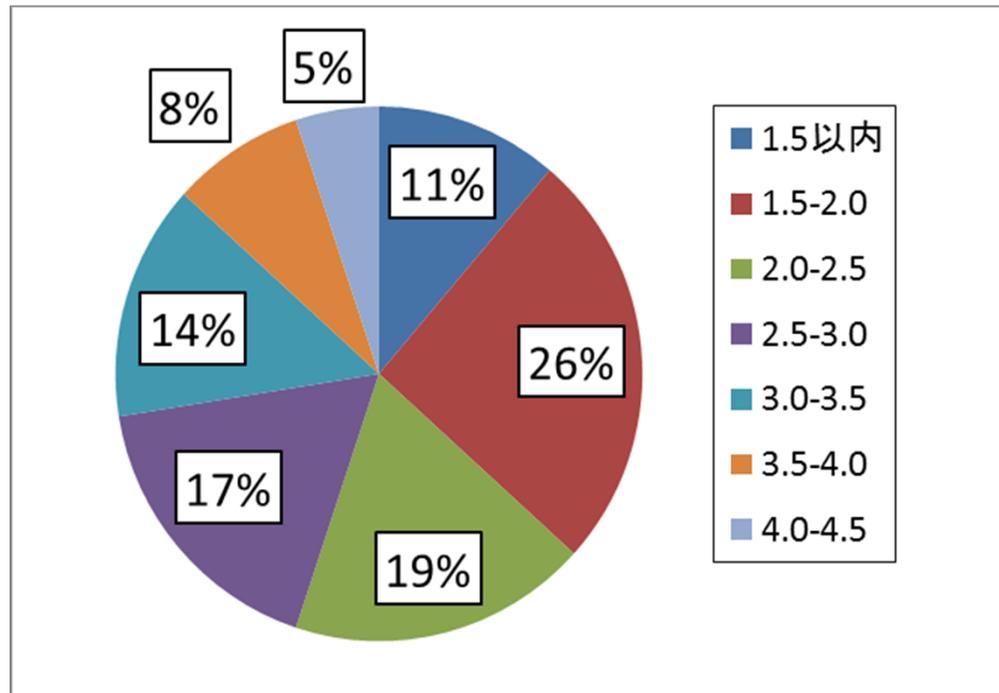
1 報告件数

性別	人数(割合)
男性	168人 (59%)
女性	119人 (41%)
報告数	287人

2 年齢分布

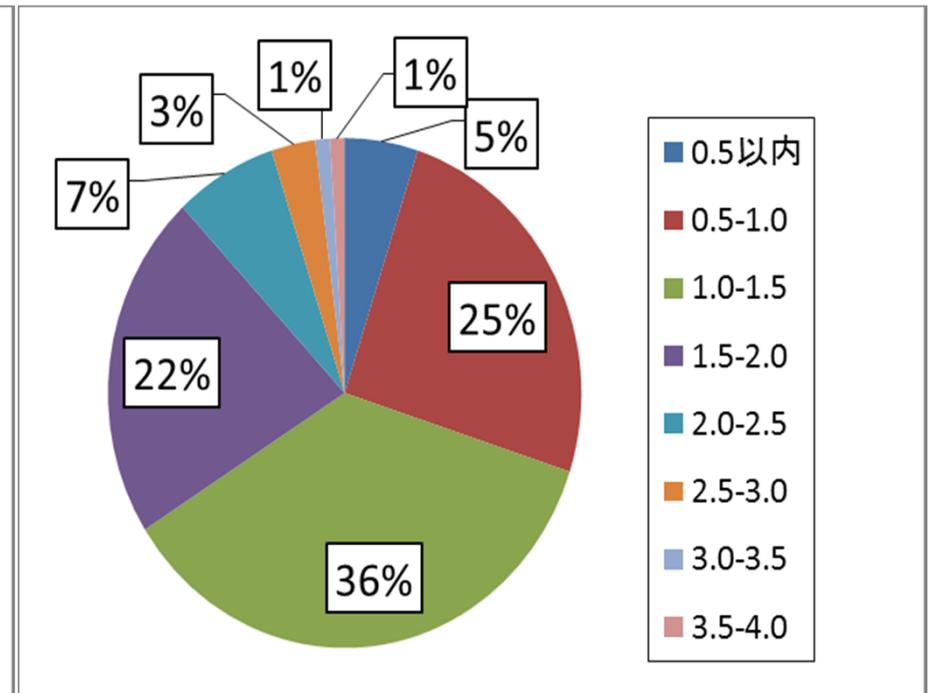
年齢	人数(割合)
～19	0人 (0%)
20～64	47人 (16%)
65～74	80人 (28%)
75～	160人 (56%)

3 発症時刻からt-PA療法開始までの時間(hr)



平均時間148分

4 病院到着からt-PA療法開始までの時間(hr)



平均時間87分

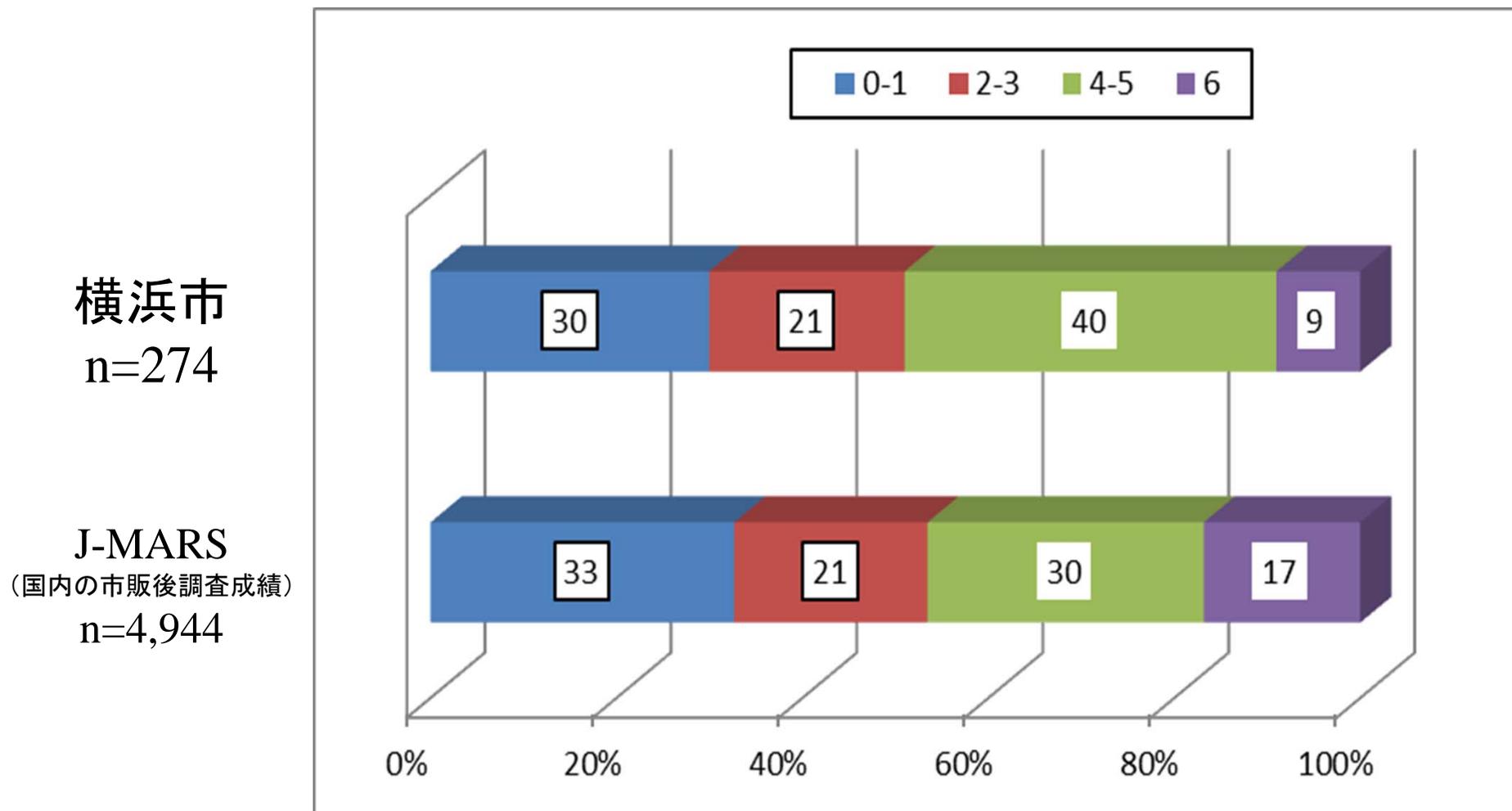
5-1 平成25年度横浜市のt-PA治療実績と市販後調査成績との比較

mRS 【3か月後】	0-1	2-3	4-5	6
横浜市 【n=274】	30%	21%	40%	9%
J-MARS(国内の市販後調査成績) 【n=4,944】	33%	21%	30%	17%

※mRS・・・障害の程度を表す基準のこと(下表は日本脳卒中学会の資料を引用)

0	まったく症状なし
1	日常の勤めや活動は行える
2	身の回りのことは介助なしに行える
3	何らかの介助は必要とするが、歩行は介助なしに行える
4	歩行や身体的要求には介助が必要である
5	寝たきり等常に介護と見守りを必要とする
6	死亡

5-2 平成25年度横浜市のt-PA治療実績と 市販後調査成績との比較



6-1 平成25年度横浜市のt-PA治療実績と 国内外の市販後調査成績との比較

下記の表は、EUの市販後調査成績(SITS-MOST)と比較するために、横浜市の治療実績を再集計したもの(J-MARSの結果も再集計したものを引用)。

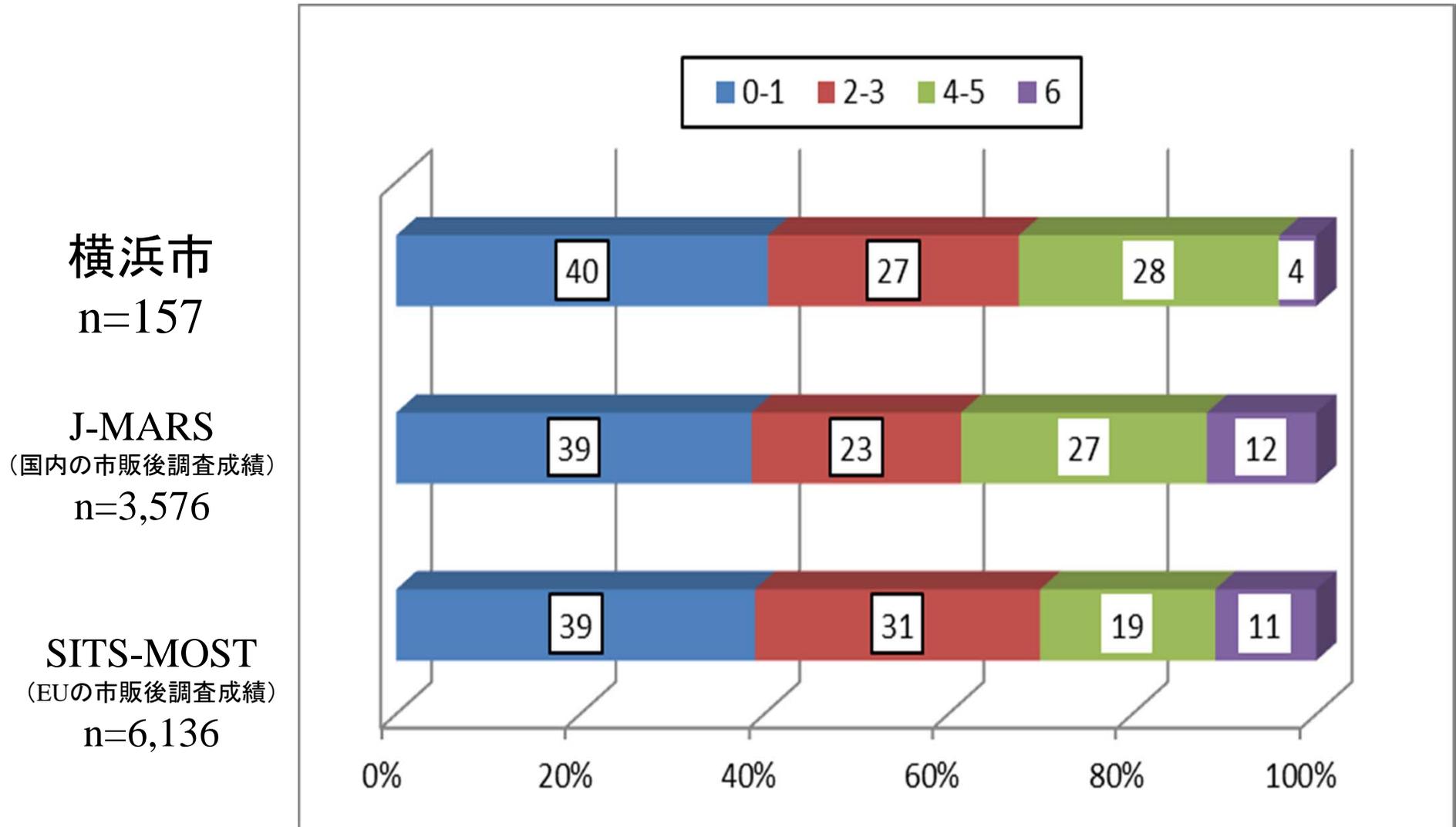
再集計の対象患者は、「18歳から80歳まで」及び「搬送時のNIHSS(※)スコアが25未満」の2つの条件を満たす者。

	mRS【3か月後】			
	0-1	2-3	4-5	6
横浜市 【n=157(全症例数の約55%)】	40%	27%	28%	4%
J-MARS(国内の市販後調査成績) 【n=3,576(全症例数の約72%)】	39%	23%	27%	12%
SITS-MOST(EUの市販後調査成績) 【n=6,136】	39%	31%	19%	11%

※ NIHSS

世界共通で使われている神経症状の評価尺度の数値で、t-PA治療前に意識水準や麻痺の程度などの15の項目についてチェックをして点数化したもの。症状がなければ0点、一番重症度が高いものは40点となる。

6-2 平成25年度横浜市のt-PA治療実績と 国内外の市販後調査成績との比較



7 その他

J-MARS（調査期間：平成17年10月から平成19年10月）

日本国内で行われた発症3時間以内の脳梗塞に対するt-P A静注療法の市販後調査。

SITS-MOST（調査期間：平成14年12月から平成18年4月）

EUで行われた発症3時間以内の脳梗塞に対するt-P A静注療法の市販後調査。